

社会福祉法人 国東市社会福祉協議会

第4期国東市地域福祉活動計画



“ほっとかない”キャラクター 「ほっとちゃん」と「かなちゃん」は
親が子どもを大切に抱きかかえて、**温められて、ホットしている姿を、イメージして**生ま
れました。

国東市社協は、よりそい・うけとめ・ほっとかない 想いで地域福祉を推進します。

2025年（令和7年）4月～

目次

第1章 計画の策定にあたって

| | | |
|---|------------------------|----|
| 1 | この計画の位置づけ | 2 |
| 2 | 第3期までの経過と本会の現状と課題 | 3 |
| 3 | 活動計画策定プロジェクトチームの立上げ | 4 |
| 4 | 市の各種計画にかかるアンケートの分析 | 6 |
| 5 | 市内のNPO法人、各種団体へのヒアリング結果 | 8 |
| 6 | 住民座談会（話そう会）の結果 | 11 |

第2章 計画の基本事項と具体的な取り組み

| | | |
|---|-----------------------|----|
| 1 | 活動計画で目指すもの（理念） | 16 |
| 2 | 基本目標 1 自分らしく暮らせる地域づくり | 17 |
| 3 | 基本目標 2 安心して暮らせる地域づくり | 19 |
| 4 | 基本目標 3 ひろがる地域づくり | 21 |

第3章 参考資料

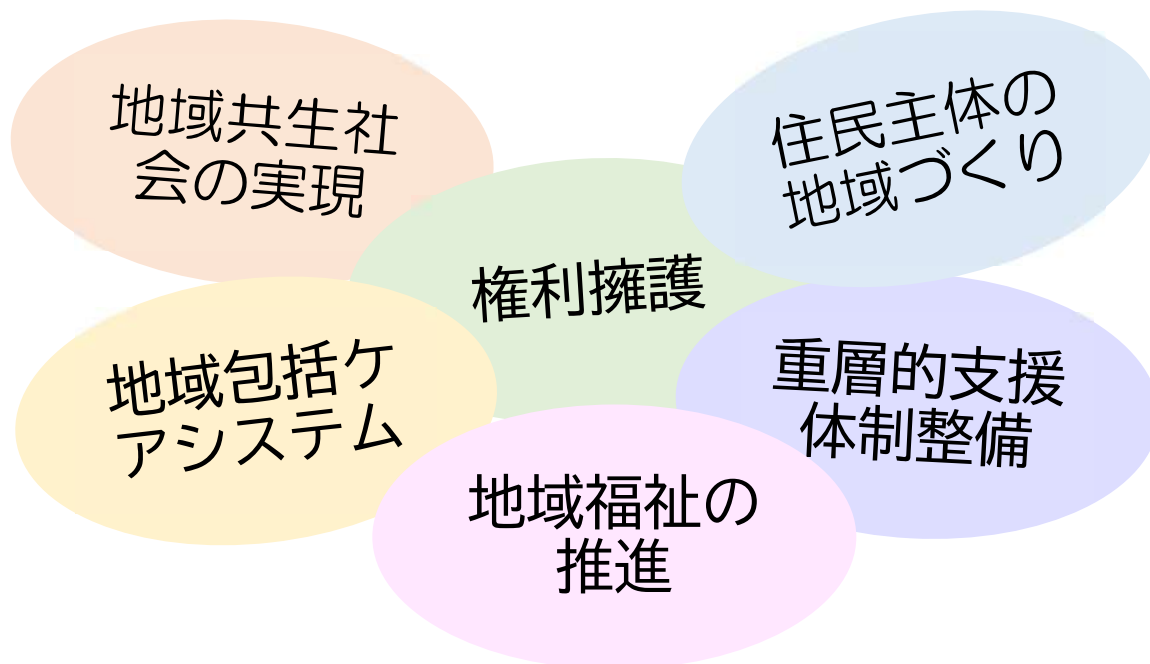
| | | |
|---|----------------------|----|
| 1 | 第4期策定委員会設置要綱 | 23 |
| 2 | プロジェクトチーム名簿 | 24 |
| 3 | 策定委員会委員名簿・策定委員会事務局名簿 | 25 |
| 4 | 地域の皆さんの声 | 26 |

第1章 計画の策定にあたって

この計画の位置づけ

- 社会福祉法第107条では、地域福祉を推進するための行政計画として「地域福祉計画」が位置づけられています。他方、同109条では、社会福祉協議会は地域福祉を推進することを目的とする福祉団体と位置づけられています。本計画は、国東市が策定している「第4期地域福祉計画」と連携しながら、地域における住民主体の福祉活動を推進していくための具体的な活動について策定する計画です。子どもから高齢者、障がいの有無や属性に関わらず誰もが住み慣れた地域で、自分らしく暮らし続けられる国東市を目指して策定する活動計画になります。
- 本計画の期間は、令和7年度から令和11年度までの5年間とします。なお、行政の行った各種アンケートの分析他、本会が実施したヒアリングの結果と座談会から見えてきた課題の解決に向けた目標や指標を定めます。また、本計画は社会状況の変化や地域ニーズの多様化、法改正等に対応するために中間年に評価・見直しを実施します。

計画を立て「社協らしい」事業展開を推進



第3期までの経過と本会の現状と課題

これまで本会では、第3期国東市地域福祉活動計画に則し、地域支えあい活動や生活困窮者自立支援事業、成年後見センター、(災害)ボランティア・市民活動センターなどを重点に地域福祉の推進に取り組んできました。

生活支援体制整備事業や生活困窮者自立支援事業は、取り組み開始から10年が経過しようとしています。地域の支え合い活動では、地区公民館区、行政区単位などの支え合い活動が広がりを見せています。スマホ教室や「国東つながる暮らし」などHPやSNSを活用した情報発信など時代に合わせた取り組みを常に地域と模索しながら推進しています。しかしながら支援者の高齢化や地域の担い手の確保、公共交通の衰退による移動手段確保や買い物難民などの課題に直面しています。生活困窮者自立支援では、ひきこもりや障がい、経済的困窮など複雑化複合化した課題が多くみられます。

令和元年度から広域型の権利擁護センターを豊後高田市社協が受託し、成年後見制度の普及啓発や法人後見を行ってきました。令和5年10月より国東市単独の成年後見センターを立上げ、より一層身近な支援者として活動を行っています。よくある相談としては、身元引受人や死後事務、任意後見等の身寄りがない人への支援のニーズが多く、今後のあり方が求められます。

ボランティア・市民活動センターでは、さまざまな災害を想定し、関係団体等の災害時における役割や支援体制などを共有するため、令和3年度に災害ボランティア連絡協議会を立上げ、災害に強い地域づくりを推進しています。そして令和6年8月には、台風10号による床上床下浸水等による被害が発生し、本会として初めて災害ボランティアセンターを設置し、生活再建に向けて被災者支援を行いました。災害に対する日頃からの備え、災害時のセンター運営など多くの課題が顕在化しました。

令和7年度からは、地域共生社会の実現に向けて、重層的支援体制整備事業が始まります。国東市社会福祉協議会(以下、「社会福祉協議会」又は「社協」という。)にはこれまでの縦割りの事業展開から、横のつながりを重視し、既存の取り組みを活かし、さらにそれを強化し、個人への支援と地域への働きかけを効果的に一体的に実施することが求められます。

活動計画策定プロジェクトチームの立上げ

第4期地域福祉活動計画策定にあたり、社協職員の有志12名によるプロジェクトチームを立上げ、月2回程度の協議を持ちながら計画策定に向けて、取り組みました。

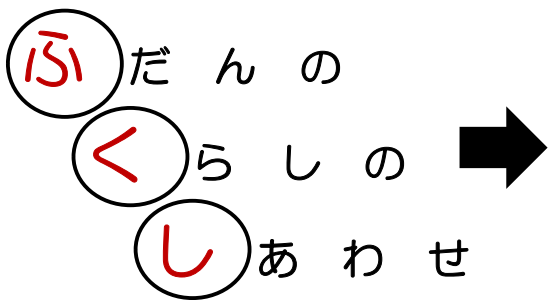
はじめに、社協職員全員が「地域福祉活動計画とは何か?」「社協とは?」ということについて改めて共通認識を持ち、同じ方向を向いて取り組んでいけるよう職員研修会を行いました。その中で地域福祉を推進していく社協の役割について、また、相互に協力し合い、一致団結できるオール社協になって取り組んでいく必要性について学びました。

第4期地域福祉活動計画策定に向けて 令和6年度 国東市社会福祉協議会 職員研修の実施

第4期地域福祉活動計画（令和7年度）の策定に当たり、職員研修会を開催しました。大分県社会福祉協議会事務局次長の藤田氏を招き、社協とは?地域福祉活動計画とは?を再確認、職員の連携強化を目的に3つのテーマで協議やグループワークを行いました。

「福祉」とは何か?

「福祉の目的」は・・・



全ての人々が安心して暮らせる社会を作るための取組みで、個々人の生活の質を向上させること。

特定の誰かのためでなく、地域社会全体の「ふだんくらのしあわせ」を実現すること。

特定の誰かではなく、「みんなが幸せになれるよう」に取り組む活動や仕組み



人と人
人と社会
をつなげる役割



障がい



自然災害



虐待・DV



介護の悩み



詐欺被害



子育ての不安

日常にあるいろんな困りごとを福祉の力で解決に導く



社会福祉協議会

グループワーク

- ①こんな社協だったらいいのに
- ②いち市民としての困りごと
- ③私の部署とあなたの部署が連携したら



A グループテーマ①

器：職場環境

肥料：地域とのつながり、社協内の和

芽：チャレンジ

ふらっと立ち寄り話がしやすい環境で、事業の垣根を越えた既存の枠組みにとらわれない連携を！

D グループテーマ①

頼られる社協・応えられる社協

困りや情報に対して地域の特性などを活かして応えられるよう。仕事が楽しいと思える、他の部署が何をしているかわかる社協に。



B グループテーマ②

自分のこと（子育て、老後や終活）

家族や周りのこと（人と人とのふれあいが少なくなった、近隣との付き合い方）地域のこと（公共交通がない、病院がない、若者が国東を離れる）

E グループテーマ②

子育て・環境・公共施設・移動・娯楽・地域の関わり等住民が少なくなったことで、地区の行事が大変、負担に感じている人が多い。



C グループテーマ③

利用者がサロンや支え合いなど地域の場に帰っていける⇔地域で気になる方をサービスにつないでいける**情報共有**や**連携**。地域福祉の窓口としてボランティアや色んな人を巻き込んだ**交流**が必要。人と人がつながり、地域課題を共有し解決していく事が大切。

F グループテーマ③

地域×共生、デイ×コーディネーター、ケアマネ×地域、地域×総務、共生×訪問入浴・ホームヘルパー

専門知識の共有
横のつながり

今日が新たなスタート！
今日出た意見をヒントに、担当者に任せっきりにしない、職員も住民、地域の支援をしながら内部でも加勢しあい一致団結できる社協に。
つなぐるところを大切に！！つながりを広げながらよい計画を！！

市の各種計画にかかるアンケートの分析

国東市では行政が、各種計画策定にあたり住民アンケートを実施しています。その既存のアンケート結果を基に、地域の住民の方々の生活課題やニーズ把握のためにアンケートの分析を実施しました。

《分析したアンケートの基となる各種計画》

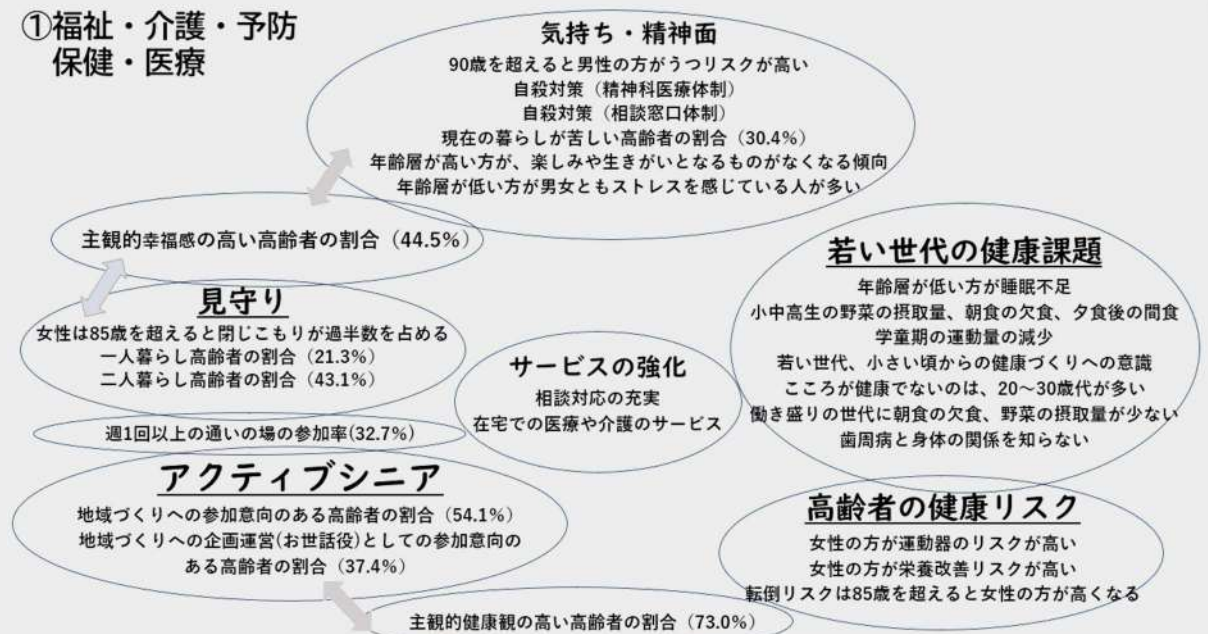
- | | |
|-----------------------|-----------------|
| ・第3次国東市総合計画 | ・第4期国東市地域福祉計画 |
| ・第9期介護保険事業計画及び高齢者福祉計画 | ・第4期国東市障がい者基本計画 |
| ・第2期国東市子ども・子育て支援事業計画 | ・第3次国東市健康づくり計画 |
| ・第2期国東市自殺対策計画 | |

これらのアンケートから地域の住民（世帯）が抱える地域生活課題として、

- ①福祉・介護・予防・保健・医療
- ②住まい・生活（家計や孤立・社会参加・地域とのつながりなど）・仕事
- ③ボランティア・子育て・教育・災害

に分け抽出、その課題の関連性等について、プロジェクトメンバーで整理しました。

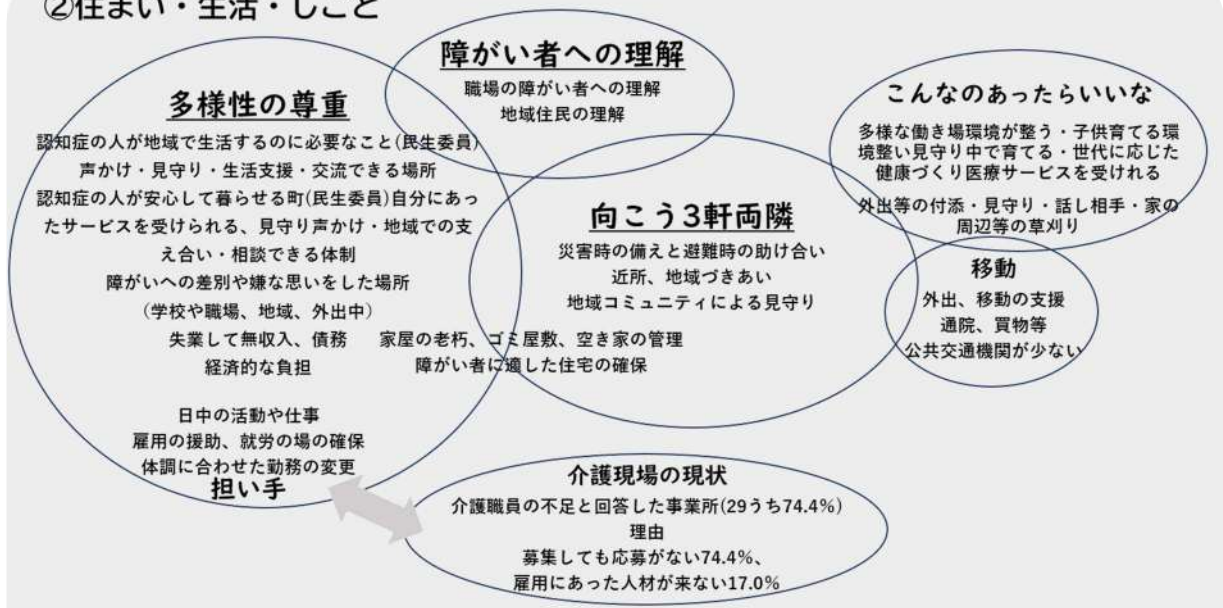
①福祉・介護・予防 保健・医療



高齢者の健康リスクが高いことに加え、若い世代の健康課題が見られます。食生活の偏りや運動量の減少があり、小さい頃から健康への意識づくりが必要です。全世代を通じて健康意識を持てるような情報発信が必要です。

また、ストレスを抱える若い世代と、楽しみや生きがいなくなる傾向にある年齢層の高い世代がいる反面、地域づくりへの参加意欲のある高齢者もおります。今後は個人への制度サービスの充実とともに、役割を持ち活躍できるような場や機会が必要です。

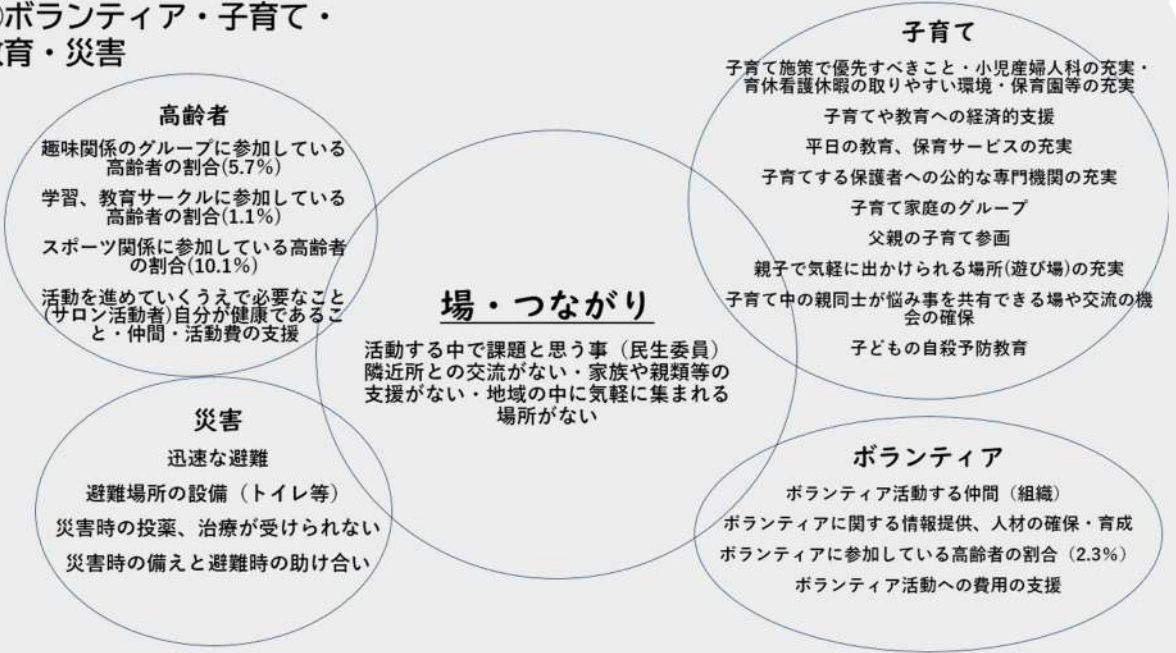
②住まい・生活・しごと



地域の中では、障がい、病気、経済的な困窮など見守りや支援を必要とする方が暮らしていますが、近隣との関係が希薄化しており、以前は地域で解決できていた事も解決が難しくなっています。向こう三軒両隣のような関係性が改めて必要となります。

また、多様な世帯が地域の中で一緒に暮らせるように、認め合いや理解が必要で、理解をすることで「その人にあつた」役割や仕事を見出すことができます。そのような土壌が人手不足などの側面も補い、支え手、受け手の垣根を越えた地域へと変えるためには必要です。

③ボランティア・子育て・教育・災害



各分野ごとに課題はあるものの、共通して「場やつながり」が不足していると思われる。

市内のNPO法人、各種団体へのヒアリング結果

国東市内には、NPO法人をはじめとした地域福祉や地域活性化に取り組む各種団体が多くあります。その中の45団体へ訪問、現在の取り組みの中で感じられている課題やこれから取り組みたいことなどについてヒアリングを実施しました。

《ヒアリング訪問先一覧》

| 区 分 | 名 称 |
|---------|--------------------|
| NPO 法人 | 国東半島くにもみ粋群（移住・交流） |
| | MAKK 笑人クラブ |
| | おくすり研究会（職能） |
| | 国東市手と手とまちづくりたい（美化） |
| 子育て | こだま会 |
| | 愛育班 OB 会 |
| | 武蔵町愛育会 |
| 読み聞かせ | おはなしドーナッツ |
| 親・当事者の会 | あずきの会 |
| | 手をつなぐ親の会 |
| | くにさきサロンまりまり |
| | おれんじのれん（3箇所） |
| 食育 | 国東市食生活改善推進協議会 |
| 手話 | 国東市手話サークル菜の花 |
| 声の広報 | なの実会 |
| 更生保護 | 国東地区更生保護女性会 |
| | 杵築国東保護区保護司会 |
| 商工 | 商工会 |
| | 商工会青年部 |
| 就労 B | 輝くピアホーム |
| | えがお |
| | 秀溪園 |
| | ハウエン |
| | 三角ベース |
| 放課後デイ | キッズステーションわくわく |
| | いきいきっ子クラブ |

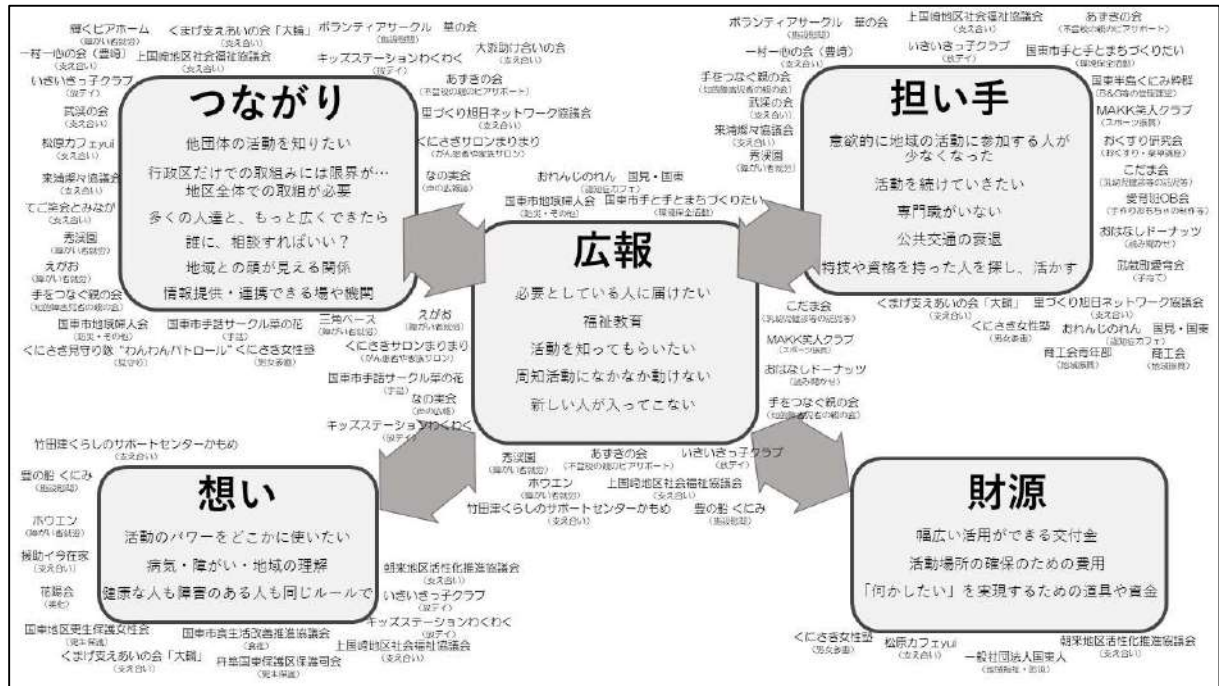
| | |
|------|----------------------|
| 防災 | 国東市地域婦人会 |
| | 一般社団法人国東人 |
| 美化 | 花陽会 |
| 見守り | くにさき見守り隊“わんわんパトロール” |
| 慰問 | 豊の船 くにみ |
| | ボランティアサークル 華の会 |
| 男女参画 | くにさき女性塾 |
| 支え合い | くまげ支えあいの会「大輪」 |
| | 上国崎地区社会福祉協議会 |
| | 竹田津くらしのサポートセンター「かもめ」 |
| | 一村一心の会（豊崎） |
| | 武溪の会 |
| | てご笑会とみなが |
| | 朝来地区活性化推進協議会 |
| | 来浦燦々協議会 |
| | 松原百円カフェ yui |
| | 里づくり旭日ネットワーク協議会 |
| | 大添助け合いの会 |
| | 援助イ今在家 |

各種団体の皆様、ご協力いただき大変ありがとうございました。

《調査内容》

- 問1 普段生活する中で、地域の方からどのような日常の困りごと、地域の問題などをお聞きしますか
- 問2 その中で貴団体が対応できるもの、対応できないものにはどんなことがあげられますか
- 問3 貴団体が活動を行う上でもっと強化していきたいところはどのようなことですか
- 問4 団体の様子や強調されている部分など
- 問5 貴団体では地域での活動等の際にどのような団体等と連携していますか
- 問6 今後活動を行う中で連携をとりたい組織や団体、地域などありますか
- 問7 なぜ連携が出来ている、連携を取りたいと思いますか
- 問8 連携しようとする上での困っていることがあれば教えてください
- 問9 貴団体が市役所や社会福祉協議会との協議でどのようなことに取り組めると思いますか
- 問10 年齢や障がいの有無に関わらず誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためにはどのような事が必要だと考えますか
- 問11 地域福祉の推進についてのご意見・ご要望等

市内のNPO 法人、各種団体へのヒアリングから視えてきた課題



《ヒアリングから視えてきた課題》

ヒアリングから…「つながり」「担い手」「想い」「財源」それぞれの課題が「広報」につながっていました。まずは、『自分たちの活動を知ってもらいたい』&『活動を知りたい』。

そのために広報活動やふだんのくらしのしあわせをつくる学びなどを行っていく必要があります。



住民座談会 “話そう会（え）” の結果

地域の皆さんのいろいろな意見を聞き「理想の地域にするために、課題の把握とそのための取組」を考える素案とするため、又、住民座談会を通して地域の皆さんとの関係づくりを行うことを目的に国東市内4圏域で、住民座談会話そう会（え）”を実施しました。

10/19（土） 武蔵地区 22名 安岐地区 18名
 10/26（土） 国東地区 31名 国見地区 28名 総数99名

【 内 容 】

ワーク①「どのような地域にしたいか」

ワーク②「そのためにはどのようなシゲン（人・事・物）が必要か」についてグループごとに意見を出し合いました。

住民座談会
話そう会（え）
参加者募集！

国東市社会福祉協議会では第4期地域福祉活動計画を策定するにあたり、まず地域の皆さんが「どのような地域にしたいと思っているのか」を知り、そのために「何が必要なか」を明確にし、共有する事が大切であると考えています。
 地域の皆さんの声を聞かせて頂き一緒に考える場として、市内4会場にて住民座談会を開催、参加者を募集します！

武蔵会場 日時：10/19（土）9：30～11：30
 場所：武蔵中央公民館 講座室

●座談会とは？
 参加者が主体的に意見を出し合い、相互に学び合う場です。

●内容
 テーマにそって意見を自由に出し合ってもらいグループで話しながら似ている意見をまとめていきます。
 テーマ①どのような地域にしたいか（こんな地域になったらいいのに）
 テーマ②そのためにはどのようなシゲン（人・事・物）が必要か、自分たちのできることは何か

●対象
 武蔵地区に住む方どなたでも

●定員
 武蔵会場先着50名
 ※座談会の都合上、事前に電話または窓口にてお申込みいただくか、裏面の申込書にてFAXにてお申込みください。

お申込
 問合せ 社会福祉法人 国東市社会福祉協議会
 TEL:0978-68-1976 FAX:0978-68-1677

住民座談会
話そう会（え）
参加者募集！

国東市社会福祉協議会では第4期地域福祉活動計画を策定するにあたり、まず地域の皆さんが「どのような地域にしたいと思っているのか」を知り、そのために「何が必要なか」を明確にし、共有する事が大切であると考えています。
 地域の皆さんの声を聞かせて頂き一緒に考える場として、市内4会場にて住民座談会を開催、参加者を募集します！

国見会場 日時：10/26（土）14：00～16：00
 場所：みんなかん

●座談会とは？
 参加者が主体的に意見を出し合い、相互に学び合う場です。

●内容
 テーマにそって意見を自由に出し合ってもらいグループで話しながら似ている意見をまとめていきます。
 テーマ①どのような地域にしたいか（こんな地域になったらいいのに）
 テーマ②そのためにはどのようなシゲン（人・事・物）が必要か、自分たちのできることは何か

●対象
 国見地区に住む方どなたでも

●定員
 国見会場先着50名
 ※座談会の都合上、事前に電話または窓口にてお申込みいただくか、裏面の申込書にてFAXにてお申込みください。

お申込
 問合せ 社会福祉法人 国東市社会福祉協議会国見支所
 TEL:0978-82-1107 FAX:0978-82-1285

(武蔵地区)

| | | | | | | | |
|---|---|--|--|--|---|---|---|
| <p>武蔵A 集いの場所・機会 のある地域</p> <table border="1"> <tr> <td> <p>自助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受援力 ・SOSを出す ・特技を発揮できる ・社会参加する気持ち ・楽しい、うれしい気持ちになれる </td> <td> <p>リーダーになれる人 (人や地域を知っている、先頭に立って引っ張る・声かけができる、無理をしない→長続き)</p> </td> <td> <p>互助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・送迎してくれる ・連携がある ・話をしやすい雰囲気 ・誘いあう、声かけ </td> <td> <p>公助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区や公民館の行事に合わせて ・興味のある内容 ・歩いて行ける距離 ・駅近の場は移動が楽 ・駐在所・公民館・学校(資源の活用) </td> </tr> </table> <p>無理をしないこと＝長続き そのためにはリーダーになれる人(地域/人を知っている)と歩いて集まれる馴染みの場は必要、資源を活用しよう</p> | <p>自助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受援力 ・SOSを出す ・特技を発揮できる ・社会参加する気持ち ・楽しい、うれしい気持ちになれる | <p>リーダーになれる人 (人や地域を知っている、先頭に立って引っ張る・声かけができる、無理をしない→長続き)</p> | <p>互助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・送迎してくれる ・連携がある ・話をしやすい雰囲気 ・誘いあう、声かけ | <p>公助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区や公民館の行事に合わせて ・興味のある内容 ・歩いて行ける距離 ・駅近の場は移動が楽 ・駐在所・公民館・学校(資源の活用) | <p>武蔵B 仏の里 のような地域</p> <table border="1"> <tr> <td> <p>自助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感謝する気持ち ・情報を得ようとする ・声かけ ・あいさつ ・まとめてくれるリーダー </td> <td> <p>互助・公助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の得られる場 ・情報の得られる方法 </td> </tr> </table> <p>相手や地域を知ることが大切 そのために情報を得ようとする、情報が得られること</p> | <p>自助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感謝する気持ち ・情報を得ようとする ・声かけ ・あいさつ ・まとめてくれるリーダー | <p>互助・公助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の得られる場 ・情報の得られる方法 |
| <p>自助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受援力 ・SOSを出す ・特技を発揮できる ・社会参加する気持ち ・楽しい、うれしい気持ちになれる | <p>リーダーになれる人 (人や地域を知っている、先頭に立って引っ張る・声かけができる、無理をしない→長続き)</p> | <p>互助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・送迎してくれる ・連携がある ・話をしやすい雰囲気 ・誘いあう、声かけ | <p>公助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区や公民館の行事に合わせて ・興味のある内容 ・歩いて行ける距離 ・駅近の場は移動が楽 ・駐在所・公民館・学校(資源の活用) | | | | |
| <p>自助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感謝する気持ち ・情報を得ようとする ・声かけ ・あいさつ ・まとめてくれるリーダー | <p>互助・公助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の得られる場 ・情報の得られる方法 | | | | | | |
| <p>武蔵CD 地域との交流 のある地域</p> <table border="1"> <tr> <td> <p>自助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土愛 ・協力リーダーを発揮する ・やる気 ・お世話係 ・声かけ ・親が子に背中をみせる ・特技を活かすボランティア </td> <td> <p>互助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・となり地区と一緒に ・声かけ ・昔の遊び ・人が集まる仕組み ・行事や祭り ・飲み会 </td> <td> <p>公助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事の情報 ・集いの場の予算 ・公民館 ・集まる目的と場所 ・空き家 ・草取り大会 ・ゴミ拾いする会 </td> </tr> </table> <p>住みやすい地域発展へ そのために子どもから大人まで、隣の地域と一緒に。親が地域がお手本になり育む、受け継ぐ。</p> | <p>自助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土愛 ・協力リーダーを発揮する ・やる気 ・お世話係 ・声かけ ・親が子に背中をみせる ・特技を活かすボランティア | <p>互助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・となり地区と一緒に ・声かけ ・昔の遊び ・人が集まる仕組み ・行事や祭り ・飲み会 | <p>公助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事の情報 ・集いの場の予算 ・公民館 ・集まる目的と場所 ・空き家 ・草取り大会 ・ゴミ拾いする会 | <p>武蔵E みんなが楽しくふれあえる場所 のある地域</p> <table border="1"> <tr> <td> <p>自助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーシップを取れる人 ・常に次世代を考える、担い手 ・助け合える人探し ・手伝ってくれる人 ・地区役員職 地域づくりに興味がある人 </td> <td> <p>互助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の名前を知れるイベント ・食事、軽スポーツ、歌、お茶、誰でも自由に参加できる場所やイベント ・外国人、若者、高齢者も参加できる ・みんなが集まれる建物とそこへの移動手段 </td> <td> <p>公助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営費や補助金 ・公民館のバリアフリー ・発展させる仕組みづくり ・調査で要望を聞く ・情報伝達の手段 </td> </tr> </table> <p>自由な内容で自由に参加できる多世代交流の場 そのためには地区のみんなで。情報をうまく伝える、受けとる。</p> | <p>自助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーシップを取れる人 ・常に次世代を考える、担い手 ・助け合える人探し ・手伝ってくれる人 ・地区役員職 地域づくりに興味がある人 | <p>互助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の名前を知れるイベント ・食事、軽スポーツ、歌、お茶、誰でも自由に参加できる場所やイベント ・外国人、若者、高齢者も参加できる ・みんなが集まれる建物とそこへの移動手段 | <p>公助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営費や補助金 ・公民館のバリアフリー ・発展させる仕組みづくり ・調査で要望を聞く ・情報伝達の手段 |
| <p>自助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土愛 ・協力リーダーを発揮する ・やる気 ・お世話係 ・声かけ ・親が子に背中をみせる ・特技を活かすボランティア | <p>互助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・となり地区と一緒に ・声かけ ・昔の遊び ・人が集まる仕組み ・行事や祭り ・飲み会 | <p>公助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事の情報 ・集いの場の予算 ・公民館 ・集まる目的と場所 ・空き家 ・草取り大会 ・ゴミ拾いする会 | | | | | |
| <p>自助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーシップを取れる人 ・常に次世代を考える、担い手 ・助け合える人探し ・手伝ってくれる人 ・地区役員職 地域づくりに興味がある人 | <p>互助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の名前を知れるイベント ・食事、軽スポーツ、歌、お茶、誰でも自由に参加できる場所やイベント ・外国人、若者、高齢者も参加できる ・みんなが集まれる建物とそこへの移動手段 | <p>公助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営費や補助金 ・公民館のバリアフリー ・発展させる仕組みづくり ・調査で要望を聞く ・情報伝達の手段 | | | | | |



- ・旗振りができる人材や情報を地域で共有できる場が必要！
- ・広報などを活用して情報を伝える必要
- ・受援力（人に頼める力）を持てると良い
- ・自由な内容の集いの場があると良い、これからの楽しみに！

(安岐地区)

安岐B

人とのつながりの重要性と課題

を踏まえた地域

| | | |
|---|--|---|
| 自助 ・仲間づくり ・情報発信する人 ・リーダー ・色んな意見を受け取りながら人をつくる機会 | 個々間の 互助 ・参加する気持ちを育む ・人と人をつなげる ・来てほしい人へのアプローチ ・協力者 ・リーダーとリーダーのサポーター ・情報発信する人 | 公助 ・歩いて行ける場所 ・財源 ・空き家や神社活用 ・集まるための手段 |
| 地域間の 互助 ・興味関心のあるイベント ・外出したくなる内容や行事 ・誰でも入れるオープンハウス | | |

地域性に応じたつながり方で、人との良好なつながりを。そのために歩いて行ける場で仲間づくり・協力者を得る事。それが災害時の強みにもなる。

安岐C

何でも話せる場所

のある地域

| | | | |
|---|---|--|---|
| 自助 ・リーダーが必要 ・やろうとする気持ち ・地域の活動に参加する ・声かけ ・地域に関心をもつ | 互助 ・人とのつながりや付き合い ・祭りなど企画 ・協力する意識改革 ・誰でもいつでも集まれる場所 ・声かけ ・リーダーへの協力体制 ・子どもと高齢者が交流する場 | 話す場所を知る方法(ボスター等) 地域課題を解決するリーダー (行政と住民の橋渡し) | 公助 ・補助金 ・リーダー育成 ・地域のニーズに合った移動手段 ・レンタルアップレット(高齢や安否確認) |
|---|---|--|---|

気軽な多世代交流、情報共有できる方法や場がある
 そうすることで支援(買物・移動)や環境整備、防災・人権意識へとつながる。行政と住民の橋渡しができる人材必要。

安岐D

3世代が安心して住み続けられる

地域

| | | |
|--|--|---|
| 自助 ・お金を稼ぐ ・子どもの見守り ・お茶会 子ども・若い子・人口減少 自助の限界 | 互助 ・課題を知る ・3世代共通の遊び ・名前も知らない事ができ ・障がい等の理解 ・行事やお祭りがあると地元に残れる ・自ら考える行動することが出来る仕組み | 公助 ・人材確保⇒外国人材 ・教育の振興(都市部との差) ・基幹産業の産業の振興 ・ケーブルTVで買物ができる ・若者が帰ってこれる仕組み ・子育てしやすい支援会 ・働く場の確保 ・産科医療の充実 ・育成就労制度対策 ・プレコンセプションケアの充実 |
|--|--|---|

「誰でも」の仕組みが必要。
 課題を知る、勉強会・情報共有をして理解する、行動する。

安岐E

横のつながり

がある地域

| | | |
|---|---|--|
| 自助 ・いつでも集まる人 ・ワイワイできる人 ・お世話をしてくれる人 ・リーダー同士の連携 ・地域の情報交換会 ・ふるさと勉強会 ・集まる場所までの車、運転手 | 互助 ・情報をしっかり伝える ・有償ボランティアでないし続かない ・手伝ってくれる人 ・懇親会をする | 公助 ・リーダー手当 ・行政の人の関わり ・地域おこし協力隊 ・地域創生課を核に ・区長、民生委員の活動 ・公民館の活用 ・最後まで一緒に考えてくれる区長又は市職員 |
|---|---|--|

ふるさとを盛り上げる
 リーダー同士のつながり(個・個)と地域を越えたつながり、情報交換や勉強会が大切



- ・集まる場所、情報共有ができる。例として、地域(旧小学校単位)を越えた勉強会で課題の分析の実施、教育・伝統文化の保存の中で多世代交流の必要性和人材確保が必要
- ・そういった部分を進めるためにも公助は必要
- ・防災を地域で考えていく必要性

(国東地区)



- ・若手や男性が参加出来る、地域共生、多世代の認め合いの場づくり
- ・地域に根付いて暮らせるように、リーダーの存在、ボランティア精神と人材育成の課題

(国見地区)

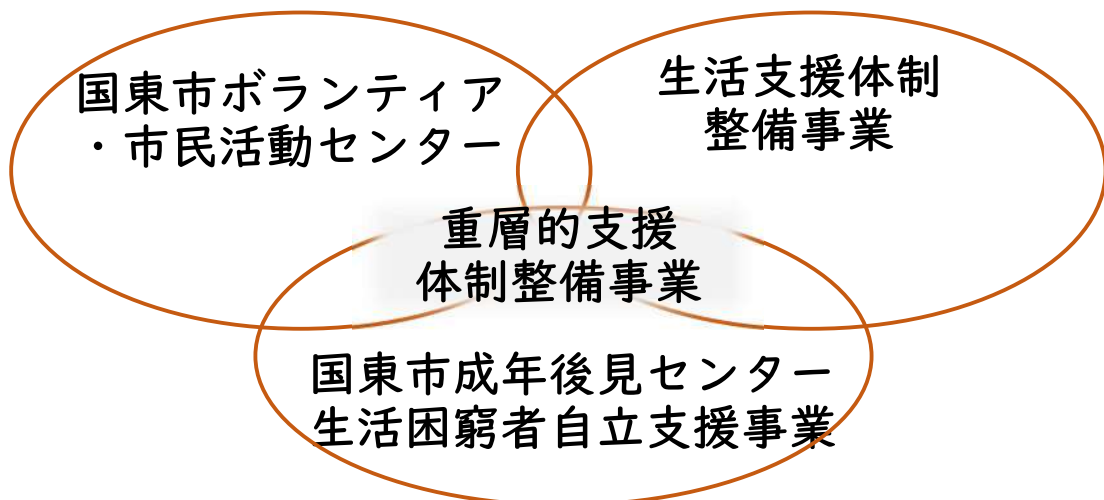
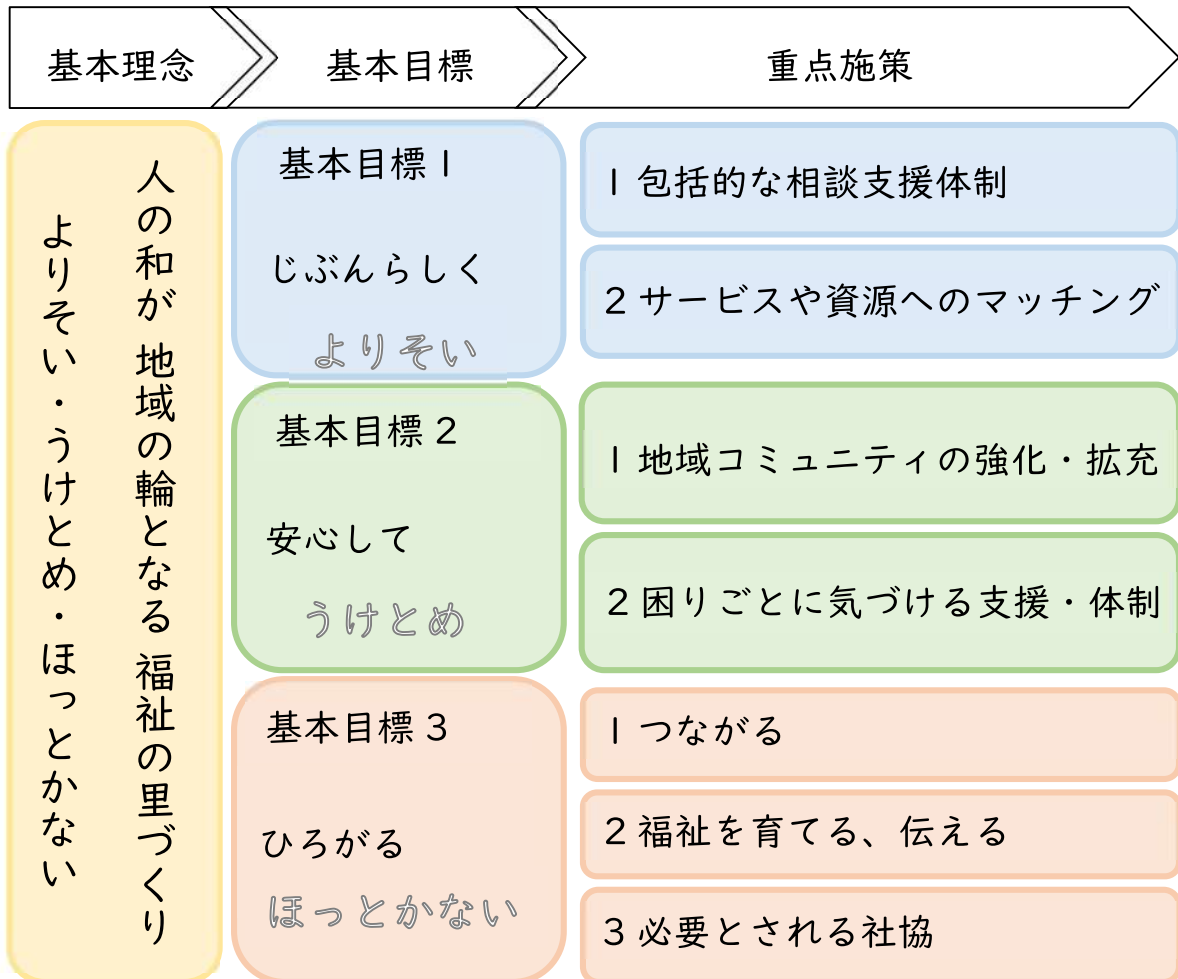
| | |
|--|--|
| <p>国見A 誰でもふれあえる 地域</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自助</p> <ul style="list-style-type: none"> 日頃からのあいさつ 声かけ 集まる人と声かける人 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>共助</p> <ul style="list-style-type: none"> 楽しい内容 季節の行事 ネット環境がある若者参加 お接待や盆踊り </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>公助</p> <ul style="list-style-type: none"> 公民館改修 送迎できるしくみ 移動手段 運営資金 公民館など場所 </div> </div> <p>誰でもふれあえる地域になるために あいさつを日常的に。集える場で充実した楽しいプログラムを行う。 集う場の環境整備も一緒に。</p> | <p>国見B 楽しい仲良しクラブ 地域</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自助</p> <ul style="list-style-type: none"> おせっかい 人材 必殺仕事人 お世話してくれる人 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>共助</p> <ul style="list-style-type: none"> 近隣の声かけ 3世代イベント 祖父母の様な子育て支援 交通手段 集まりやすい場 仲良しクラブに対面で啓発 地域内の連携 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>公助</p> <ul style="list-style-type: none"> Wi-Fi+公園 資金 支援者 顔と名前がわかるイベント 学習の場 車 </div> </div> <p>近隣の声かけや引っ張りこむほどのおせっかいが大切。 頼まれる方は遠慮するのでおせっかいなくらいで。プログラムの充実や、何でもできる通いの場が大切。</p> |
| <p>国見C 日頃から顔の見える支え合い 地域</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自助</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係づくり いろんな活動へ参加 若い人、次世代の参加 気軽に頼める関係 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>共助</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区全体に声かけて知ってもらう、回覧板を活用 活動内容紹介の場 組織的活動を行う人達との交流、知ることから始める </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>公助</p> <ul style="list-style-type: none"> 市全体のボランティア大会 ボランティア団体の横連携促進 報酬支払の仕組み 行政への要望 </div> </div> <p>個や団体とのつながりや横連携をする。 そのために参加、交流、情報発信が大切。それが災害対策にもつながる。</p> | <p>国見D 交通が整備されている 地域</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自助</p> <ul style="list-style-type: none"> ちょい加勢送迎 運営のルール 万が一のルールや保険 連絡したら来てくれる人 ドライバーを増やす 安全運転スキルのある人 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>国見全体でライトシェアを率先して取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> 外灯の間隔を狭く </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>公助</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校のバス利用 電車が通ってほしい 自動運転モビリティ オンデマンドを国東市内までに広げよう バスの夜間運行 谷の道路を広く </div> </div> <p>移動手段がある＝出かける楽しみ・生活しやすさ 支え合いによるちょい加勢は人材確保が大切。バスの利活用やオンデマンドタクシーの改良を。</p> |
| <p>国見E お店がいっぱい助けあえる災害に強い人が集まる 地域</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自助</p> <ul style="list-style-type: none"> 空き家バンク登録(周知) 悩み相談 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>互助</p> <ul style="list-style-type: none"> 買物、病院の送迎 悩み相談 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>公助</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光資源・助成金 公共施設の整備 川辺海辺のサウナ 公園・コンビニ バスタクシー </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ヒト</p> <ul style="list-style-type: none"> 担い手の確保 働きやすい場 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>モノ</p> <ul style="list-style-type: none"> 商店街 悩みを相談できる場所 移動スーパー 空き家のアビール 子どもが遊べる公園 職場、海辺サウナ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>コト</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光資源の宣伝 若者への助成金 バスタクシーの充実 公共施設の整備 人が集まるイベント 買物、病院送迎 1日学校跡地宿泊体験 </div> </div> <p>助け合いや災害対応力につながる住みやすさ 悩みが相談できる関係、多様な場や人が多くあれば相談先も広がる</p> | <p>国見F 認め合える 地域</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自助</p> <ul style="list-style-type: none"> リーダーシップをとる人 健康維持 歌 定期的に声かけ、見守り 会話 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>互助</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し合える人、場所 何でも話し合える場所 座談会 人権教育 障がいや認知症の事を知る勉強会 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>公助</p> <ul style="list-style-type: none"> Wi-Fi環境 カラオケBOXで歌いたい 住民と行政の枠を外す </div> </div> <p>隣同士どう仲良くしていくか？ 高齢、障がい、男女、病氣、移住者、自分に合わない人や意見でも、誰もが意見を言える場があれば違いを認め合える。行政では出来ないことを住民でやろう。</p> |



- ・ 通いの場で住民同士のつながりを作ろう
- ・ 日頃のあいさつや声のかけあい、地道なところを積極的に
- ・ おせっかいになっていこう。多様性を認め合って地域づくりをしよう

第2章 計画の基本事項と具体的な取り組み

活動計画で目指すもの(理念)



国東市社会福祉協議会の地域福祉推進の基盤

基本目標 1

じぶんらしく暮らせる地域づくり

社会福祉協議会では、子ども、高齢者、障がい者、生活困窮者等、属性や世代を問わずに、すべての地域住民が、自分らしく過ごせるように、生きがいや役割を持ちながら自己実現できる地域づくりを目指し、以下の2点を重点的に取り組みます。

1. 包括的な相談支援体制

本会の各拠点に、相談窓口を設置し、身近な相談窓口として、まずは相談内容をしっかりと受けとめる体制づくりを行います。

困りごとを抱えた方の相談を受けとめ、困りごとの把握、解決に向けた関係機関との連携や社会資源等との調整を行います。

また、複雑・複合的な課題がある中で解決に向けた協働が必要な場合等、市の重層的支援体制整備事業における多機関協働事業を活用し、関係機関との協働を通じた継続的な関わり、支援を行います。

【そのための主な取り組み】

| | |
|-------------------|-----------------------|
| 相談窓口機能の強化・ 充実 | 相談受付と課題解決力の向上 |
| | 生活困窮者等への相談、貸付、給付支援 |
| | 権利擁護等に関する相談 |
| | 無料法律相談の実施 |
| 複雑化・複合的課題への 対応 | 多機関協働による包括的支援体制の整備 |
| | 権利擁護ネットワークの強化 |
| | アウトリーチを通じた継続的支援、参加支援 |
| | 身寄りがない人、親亡き後など支援体制の強化 |

【評価目標・指数】 ※以下、各数値は中間年・最終年での目標指数を記載

| 評価目標・指数 | 中間年 | 最終年 |
|-------------------------|-----|-----|
| 相談受付と課題解決力の向上（事例検討会の実施） | 2回 | 2回 |
| 多機関協働に関する協働事業、研修会 | 3回 | 3回 |
| 権利擁護に関する新規相談 | 12回 | 12回 |

2.適切なサービスや資源へのマッチング

社会福祉協議会は公共性のある組織として、地域の様々な困りごとに対し関係機関との連携を行いながら、その人に合った適切なサービスの提供を実施し、必要かつ不足する社会資源やサービスに関しては、創出のための検討を行います。

【そのための主な取り組み】

| | |
|---------|--------------------------|
| 生活支援の実施 | 家計改善事業、就労支援事業、居住支援 |
| | 法人後見事業や申立支援、日常生活自立支援事業 |
| | 福祉用具の貸出やフードパントリー、安心箱設置事業 |

【評価目標・指数】

| 評価目標・指数 | 中間年 | 最終年 |
|----------------------|-----|-----|
| 生活困窮者自立支援事業（新規相談件数） | 50件 | 50件 |
| フードパントリーの実施（イベント） | 6回 | 6回 |
| フードバンク支援の実施（個別支援） | 12回 | 24回 |
| 法人後見・日常生活自立支援事業 利用者数 | 40名 | 50名 |
| 任意後見事業や将来に備えた支援の検討 | - | - |

基本目標 2

安心して暮らせる地域づくり

子ども、高齢者、障がい者、困窮者等、属性や世代を問わず、誰もが住み慣れた地域で、役割や生きがいを持ちながら安心して生活が送れるよう、見守り活動や生活支援などの既存地域資源との調整・拡充を図るなど、地域におけるセーフティネットを拡げるため、以下2点の取り組みを行います。

1.地域コミュニティの強化・充実

国東市では地域の支え合い活動や週一元気アップ教室、サロン活動を実践しています。未実施地区の地域の支え合い活動等の輪を広げ、高齢者や障がい者、子どもなど、気軽に集まれる多世代交流としての地域コミュニティの強化を推進します。

また、親亡き後の問題や、ひきこもりの家族等ピアサポートを支援します。そして既存のボランティアセンターのマッチング機能を充実させ、様々な課題を抱えた人たちと、地域との繋がり強化を図ります。

行政が進めているコミュニティ機能を維持継続のための地域運営組織（RMO）との連携を行います。

【そのための主な取り組み】

| | |
|------------------|------------------------------------|
| 多様な人が集まれる場の推進 | 気軽に集まれる場所の推進 |
| | 生活支援体制整備事業の推進 |
| | 元気高齢者健やかサロン事業の推進 |
| | 週一元気アップ教室事業の推進とリーダー育成及び支援 |
| | 多世代交流の推進 |
| 人と人、人と団体をつなげる仕組み | ピアサポートの強化・支援（障がい、ひきこもり等） |
| | 就労の確保、住居支援、農福連携への取り組み |
| | ボランティアのマッチング機能強化（HPやSNSを活用した情報発信等） |

【評価目標・指数】

| 評価目標・指数 | 中間年 | 最終年 |
|--------------------------|-------|-------|
| 週一・サロン・通いの場の継続的な運営支援会 | 1回/3年 | 1回/3年 |
| 当事者・家族会の運営支援、会の中での相談援助件数 | 3件 | 6件 |
| 農福連携（農家と福祉のネットワークづくり） | 1件 | 2件 |
| ボランティアのマッチング件数 | 12回 | 24回 |

2. 困りごとに気づける支援・体制

地域には困りごとを抱えているが、自ら「助けて!」と声を出すことが難しい方がいます。しかし地域の中につながりがあることにより、関わる誰かが、その人の困りごとに気づき、連携することで、困りごとの深刻化を防ぎ、早期支援につなげます。そのためには地域における見守りのセーフティネットを拡げ、お互いに気づき、支え合う地域を目指します。

【そのための主な取り組み】

| | |
|-----------|----------------------------|
| 地域資源の維持強化 | 災害ボランティア（連絡会）強化推進 |
| | 地域ふれあいネットワーク会議への支援 |
| | 民生委員・児童委員協議会等の団体活動の支援・推進 |
| 支えあい資源の強化 | 地域での話し合いの場の強化（座談会など） |
| | 買い物支援の実施を見据えた事業検討（行政等との協働） |
| | 移動支援の強化、検討 |
| | ちょいかせ事業の拡充 |
| | 制服バンク等の推進 |

【評価目標・指数】

| 評価目標・指数 | 中間年 | 最終年 |
|--|------|------|
| 地域ふれあいネットワーク会議の支援（防災、見守り） | 16カ所 | 32カ所 |
| 災害ボランティアネットワーク連絡会の開催 | 2回 | 3回 |
| 寄ろう会（え）、語ろう会（え）の開催 | 7回 | 7回 |
| ちょいかせ事業の拡充 | 14団体 | 16団体 |
| 制服バンク等を通じた若い世代との交流 （高校生→中小生への学習・運動交流・物資的支援） | 4回 | 6回 |

基本目標 3

ひろがる地域づくり

国東市には福祉関係事業所をはじめ、支え合い団体、各種ボランティア団体、当事者家族会など、地域福祉や地域づくりに熱意を持ち活動している団体や個人がいます。そのような方々の活動が継続的に行えるよう、情報発信や活動内容の共有のための、手段や場の整備を行うことに加え、次世代の担い手となる人材育成に向けた取り組みなどの後方支援を行います。

また、本会内部でも職員間の連携強化を図り、ALL 社協として、事業に取り組める体制を推進し、地域に必要とされる社協を目指すため、以下の3点に取り組めます。

1. つながる

社会福祉協議会にとって「つながる」ことは、地域福祉を推進するための基盤であり、「情報共有」はその基盤を支える大切な手段となります。地域の方々が安心して暮らせる環境を作るために、本会は多様な方法での情報発信や様々なつながる機会を提供していきます。

【そのための主な取り組み】

| | |
|-----------------|----------------------------------|
| 知る、知りたいを応援する仕組み | ボランティア団体・NPO等のつながり強化 (話し合いの場) |
| | SNS・広報誌・メディアを使った広報活動の実施 |
| | 学ぶことのできる環境の提供 |

【評価目標・指数】

| 評価目標・指数 | 中間年 | 最終年 |
|---|-----|-----|
| ボランティア団体・NPO等、つながりの場の提供 | 1回 | 2回 |
| SNS・広報誌・メディアを使った広報活動の実施 (社協、ボランティア団体等の活動の見える化) | 28回 | 28回 |
| シンポジウム・講演会等の実施 | 2回 | 2回 |

2.福祉を育てる、伝える

地域の福祉教育や新たなボランティア活動者の育成を推進します。学校やサロン等を通じて、地域との繋がりの大切さを伝え後継者を育てます。

また、災害ボランティアや市民後見人等の専門性に応じた支援者を育成します。

【そのための主な取り組み】

| | |
|----------------|----------------------------|
| 学び・体験を通じて福祉を推進 | ボランティア養成の推進 |
| | 市社協指定ボランティア協力校の推進と事業再検討 |
| | フードバンク・フードドライブ事業の拡充 |
| | サロン出前講座の実施 |
| 専門性のある支援者を育てる | 災害ボランティア（個人・団体・事業所等）の発掘・育成 |
| | 市民後見人養成の推進 |

【評価目標・指数】

| 評価目標・指数 | 中間年 | 最終年 |
|--------------------|-----|------|
| サロン出前講座 | 12回 | 24回 |
| 災害ボラ登録（個人・団体・事業所等） | 50名 | 100名 |
| 市民後見人養成講座修了者 | 30名 | 40名 |

3.必要とされる社協

地域福祉実践の現場では、個々の職員の知識やスキル等が、属人的になりがちです。今後は個々の職員の持つスキルや知識を組織の財産として共有化を図り、職員一人ひとりのスキルアップにつながる体制づくりを行います。

【そのための主な取り組み】

| | |
|----------|------------|
| 社協の組織づくり | 社協事業間の連携強化 |
| | 職員研鑽の実施 |

【評価目標・指数】

| 評価目標・指数 | 中間年 | 最終年 |
|---------------------------|-----|-----|
| 内部での事業連携のための新たな取組み検討部会等設置 | - | - |
| 職員研修会の実施 | 3回 | 3回 |

第3章 参考資料

国東市社会福祉協議会 第4期国東市地域福祉活動計画策定委員会設置要綱

(設置)

第1条 国東市地域福祉活動計画（以下「地域福祉活動計画」という。）の策定に当たり、広く地域住民の意見を反映するため、国東市地域福祉活動計画策定委員会（以下「策定委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 策定委員会の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 地域福祉活動計画の立案・策定に関すること。
- (2) 地域福祉活動計画の調査研究に関すること。
- (3) その他計画に関して必要な事項。

(組織)

第3条 委員会は、委員20人以内で組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから国東市社会福祉協議会会長（以下「社協会長」という。）が委嘱する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 関係機関・関係団体から推薦された者
- (3) 公募委員
- (4) その他、会長が必要と認める者

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から計画の策定又は見直しが完了する日までとする。

2 委員が任期の途中で前条第2項各号に規定する者でなくなった場合その他の事情により欠けた場合、社協会長は速やかに当該委員の後任委員を委嘱するものとする。

(会長及び副会長)

第5条 委員会に会長及び副会長各1名を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は会務を総理し、委員会の会議の議長となる。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、必要に応じて会長が招集する。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 委員会は、必要に応じて会議に委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

4 委員会の議決は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは委員長が決する。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、社会福祉協議会事務局において処理する。

(補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか委員会の運営に関し必要な事項は、社協会長が別に定める。

附則

この要綱は、令和6年6月12日から適用する。

プロジェクトチーム（社会福祉協議会）

| 氏名 | 役職・担当等 | 備考 |
|--------|----------------|--------|
| 小田 美一 | 常務理事 | |
| 矢野 高広 | 事務局長 | |
| 松本 博晃 | 福祉支援課 福祉支援係 係長 | リーダー |
| 江本 勇輝 | 総務福祉課 地域共生係 係長 | サブリーダー |
| 渡辺 弓子 | 通所介護 主任 | |
| 後藤 彰一 | 生活支援コーディネーター | |
| 南松 茉莉子 | 生活困窮者自立支援 | |
| 花木 あおい | 生活支援コーディネーター | |
| 岩本 泰則 | ケアマネジャー | |
| 秋吉 諒子 | 生活支援コーディネーター | |
| 徳丸 悦大 | ボランティア市民活動センター | |
| 堀 亜耶奈 | 重層的支援体制整備 | |

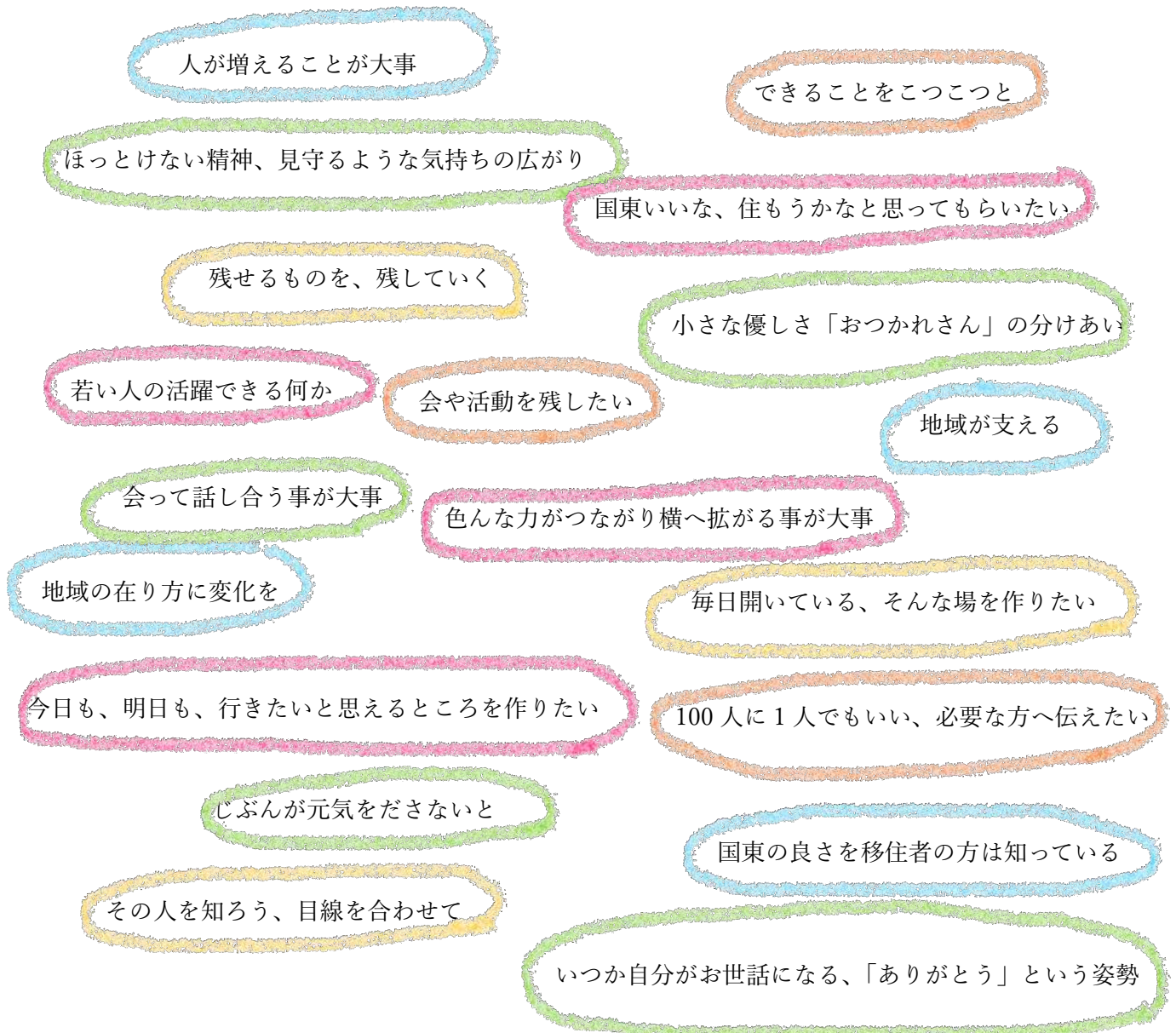
策定委員会委員名簿

| 氏名 | 所属・役職等 | 備考 |
|--------|------------------------------------|--------|
| 植田 稔 | 国東市防災士連絡協議会安岐支部長 | |
| 鹿島 清子 | あずきの会 | |
| 武井 啓江 | 元地域支援サポーター | |
| 清原 正義 | 国東市民生委員児童委員連合会会長 | 副会長 |
| 坂口 弘道 | くにさき地域応援協議会寄ろう会(え)委員長 | |
| 溝井 浩二 | くにさき地域応援協議会寄ろう会(え)副委員長 | 会長 |
| 高山 三知恵 | 国東市手話サークル菜の花 | |
| 藤原 龍司 | 一般社団法人国東人 | |
| 寺岡 剛 | 手をつなぐ親の会 | |
| 廣岡 奈美代 | 児童発達支援・放課後等デイサービス キッズステーションわくわく | |
| 山中 敏子 | 障がい者生活支援センタータイレシ | |
| 荘司 浩佑 | 障がい者サポートセンター三角ベース | |
| 坪井 竜一 | 小規模多機能 Plus はるかぜ | |
| 井上 加奈江 | 社会福祉協議会評議員 | |
| 大海 音江 | 国東市福祉課課長補佐 | |
| 溝部 一晴 | 国東市包括支援センター係長 | |
| 山際 隆広 | 国東市危機管理室係長 | |
| 山浦 陽一 | 大分大学経済学部准教授 | アドバイザー |

策定委員会 事務局名簿（社会福祉協議会）

| 氏名 | 役職等 | 備考 |
|-------|----------------|----|
| 小田 美一 | 常務理事 | |
| 矢野 高広 | 事務局長 | |
| 木村 裕子 | 在宅福祉課長 | |
| 松本 博晃 | 福祉支援課 福祉支援係 係長 | |
| 江本 勇輝 | 総務福祉課 地域共生係 係長 | |
| 堀 亜耶奈 | 総務福祉課 地域共生係 主事 | |

策定にあたり聞かせて頂いた地域の皆さん、福祉活動団体等の声
(取り組みで大事にされている事、地域福祉の推進のために大切と思う事)





第 4 期 国東市地域福祉活動計画

発行年月 令和 7 年 3 月
発 行 社会福祉法人 国東市社会福祉協議会
編 集 総務福祉課・プロジェクトチーム
〒873-0412 大分県国東市武蔵町古市 1086 番地 1
TEL 0978-68-1976 / FAX 0978-68-1677
